

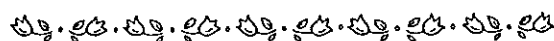
平成 23 年 12 月 12 日発行/おもちゃの図書館全国連絡会 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-6-2 八重洲一丁目ビル 8 階  
電話 03-3272-0072 Fax03-5299-9011 E-mail:renrakukai@toylib.or.jp HP:http://www.toylib.or.jp/renrakukai/

## 2011全国ボランティアフェスティバル TOKYO が開催されました!

平成 23 年 11 月 12 日(土) 両国国技館 ならびに 東京ファッションセンタービル  
11 月 13 日(日) 青山学院大学 ならびに 国連大学周辺

### 分科会 48

### あそびにきてね!おもちゃ図書館



木谷宜弘先生とご一緒に、おもちゃの図書館全国連絡会の始まりを振り返りました。木谷先生が全国ボランティアセンター初代所長として、おもちゃ図書館活動の広がりを支えてくださったことや、助成団体とつなげて下さった事などをお聞きすることができました。また、先生のボランティアの原点は、子供たちへの童話口話活動であり、その時のキラキラ輝く子供たちの眼差しが、続けてこられた原動力であったこと。即席の手品も見せて下さり、いつまでも変わらない情熱や子供たちが大好きと伝わって参りました。おもちゃ図書館活動の今後について、さらに図書館の数を増やすこと、若い人たちの育成をすることなどの課題を頂きました。ご期待に添えるように頑張りたいと思います。(世話人代表・小泉康代)



木谷宜弘先生(中央)  
小泉代表(左) 峯島副代表(右)

### 分科会 52

### あそびにきてね!おもちゃ図書館

### 被災地の子ども達へ届けよう。楽しい遊びを!

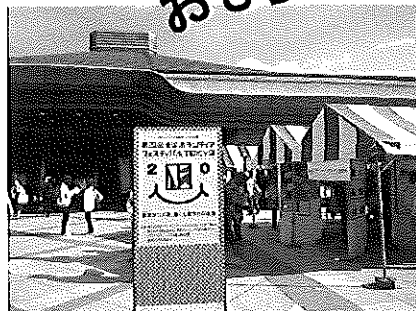
東日本大震災で被災した石巻市のおもちゃ図書館あそぼの戸田代表は、自閉的な障害のある息子さんの親であり特別支援学校の教師です。戸田さん自身も津波により家が浸水し、息子さんと一緒に避難生活をおくり、偏食や慣れない環境の中でパニックをおこしたことで、被災し犠牲になった子どものことなど身につまされる報告がありました。11月からおもちゃ図書館を再開し、改めておもちゃ図書館が自分の心の支えとなっていたことに気づいたこと、子どもの障害について日頃から、みんなに理解をしてもらえるように発信していくことの大事さを感じた、など話されました。

塩尻おもちゃ図書館の今井さんからは、被災後いち早くおもちゃを持って支援活動に入ったことやこれからも継続して活動をしていきたいという熱い思いを、浅野事務局長からは、被災地支援活動PTをつくり、被災地が求めている支援活動に取り組んできたことが報告されました。第2部はよこはま布えほんぐるーぷによる指導でクリスマスツリーに飾る長靴をみんなで一針一針縫い、石巻市の「あそぼ」と南三陸町の「いそひよ」にプレゼントされました。(事務局世話人・鈴木訪子)

## おもちゃ広場同時開催



かわいいクリスマスツリーができました!



日本おもちゃ図書館財団と共催で両日ともおもちゃ広場を開催しました!

# おもちゃ図書館ボランティア研修会報告

## 東海・北陸

日時：平成23年11月23日(水・祝)10時～15時

《参加者 98名》

会場：愛知県社会福祉会館(名古屋市)

主催：財団法人こども未来財団 おもちゃの図書館全国連絡会

講演：「地域における子育て支援」(日本福祉大学子ども発達学部教授 渡辺顕一郎氏)

分科会①パネルディスカッション 子育て支援をどう進めていくか

パネリスト：坂鏡子氏(名古屋学芸大学准教授)鈴木順子氏(岡崎おもちゃの図書館きらら)蜂須賀裕子氏(清須おもちゃ図書館ひだまり)

分科会②ワークショップ「手作りおもちゃ」講師：毛塚滋氏(埼玉県立行田特別支援学校教諭)

分科会③実践発表

発表者：松山章恵氏(大口おもちゃ図書館さくら)保井五雄氏(おもちゃ図書館どろんこ)伊東千枝子氏(東海市おもちゃ図書館)



感想：◎講演の内容がわかりやすく、今の問題点もわかって良かった。  
分科会の事例発表もよく、今後の活動の参考になりました。  
◎手作りおもちゃがたくさん作れてアイデアが参考になりました。

## 中国・四国

日時：平成23年11月6日(日)10時～15時

《参加者 67名》

会場：津山市総合福祉会館(岡山県)

主催：財団法人こども未来財団 津山トイボランティアサークル「ピコ」

講演：「おもちゃ図書館ってだれのもの」(高知県立大学教授 小坂田稔氏)

分科会①事例発表 発表者：岸本理香氏(なぎおもちゃ図書館ひよこ) 松山明子氏(新居浜市おもちゃ図書館きしゃポッポ)

分科会②ワークショップ「手づくりおもちゃ」講師：岡田初子氏(手づくりおもちゃボランティア て・ての会)

分科会③ワークショップ「手づくりおもちゃで楽しく遊ぶ」講師：福田慧子氏(トイボランティアサークルピコ)

分科会④ワークショップ「つみきで楽しく遊ぶ工夫」安東篤志氏(子どもの本とおもちゃの店ゆめさく)



《アンケートより》  
\*地域福祉を学べ、おもちゃ図書館が目指していかねばならないことが学べ、大変勉強になりました。  
\*アットホームな研修会で想いが伝わってくる会でした。人とのつながり、出合いを改めて大切にしたいと感じました。  
\*手づくりおもちゃの素晴らしさを再発見させていただきました。

## 滋賀県高島市

日時：平成23年11月6日(日)

《参加者60名》

会場：高島市安曇川ふれあいセンター

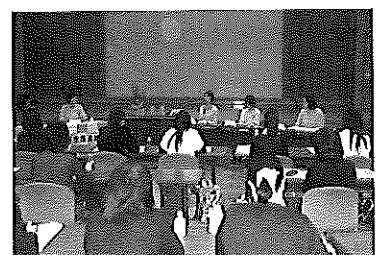
主催：財団法人こども未来財団 (特非)湖西生涯学習まちづくり研究会どろんこ

きらきらおもちゃ図書館 ニコニコおもちゃ図書館 おもちゃ図書館どろんこ

講演：「人間発達と子育て・子育て」(滋賀県立大学人間文化学部教授 竹下秀子氏)

### 子育てフォーラム

午前中は講演会、午後はパネルディスカッションを行いました。3名のパネラーの体験に基づいた提案は、まさに子育ての大きな壁にぶつかった親の歩みでした。更に、会場の皆様方からも貴重な発言をいただきました。子どもと正面から向き合い歩んでおられる体験を発表してくださるその姿に、苦労と同じくらいの心の豊かさを感じました。  
竹下秀子先生の「子どもはゆっくり育ち、親も育つ」「子育てはひとりぼっちじゃない、支援を受ける力をつけよう」との助言で、子育てへの肩の力が抜け、心にゆとりをもつことができたように思います。(保井)



# ☆ITLA 国際会議 in ブラジル ☆

## 第12回おもちゃの図書館国際会議報告

2011年10月10日(火)から15日(土)の5日間、ブラジル・サンパウロ市において、第12回おもちゃの図書館国際会議が開催され、おもちゃの図書館全国連絡会から4名が参加しました。

今回の会議は“おもちゃ図書館はいま”のメインテーマのもと、おもちゃ図書館の現状の理解とその概念の確認を目的に、その歴史を振り返りながら今後のあるべき姿を模索し、更に現在のデジタル社会におけるおもちゃ図書館の在り方の検討や、トライブラリアン(おもちゃ図書館司書)の確立を目指して開催されました。

国際トライブラリー協会会長のシンシア・モリソンと、ブラジル代表のヴェラ・オリヴェイラによる開会挨拶に続き、前ブラジル代表のニルセイ・クンハによる特別講演が行われました。「遊びは楽しく生きる力、子どもの成長を刺激する」と「遊びの重要性」を強調し、「おもちゃ図書館には限りない可能性がある」と締めくくったのが印象的でした。

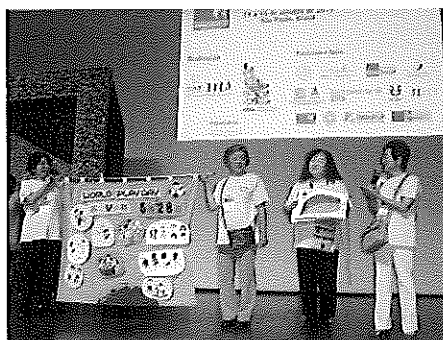
開会式に続いて行われたラウンドテーブルで、“おもちゃの図書館全国連絡会の東日本大震災支援プロジェクト”、特に“おもちゃキャラバン”について峯島が報告しました。

会議2日目の朝には、各国が自由に自国の紹介をするナショナル・プレゼンテーションが行われました。日本は、おもちゃ図書館がボランティアにより運営されていること、日本の布の手作りおもちゃは世界各国から高い評価を受けていること、今回持参したブラジルへのプレゼントの布えほん「はらぺこあおむし」の紹介(文章はポルトガル語で書いてあります)、ワールド・プレイデイのタペストリーの紹介等、盛りだくさんの報告をしました。

ナショナル・プレゼンテーションに続いて“布の手作りおもちゃ”のワークショップをしました。まず、平成21年度こども未来財団の研究で制作した、「布等の手作りおもちゃ」のDVDを見ていただき、続いてDVDに出ていたおもちゃを参加者が実際に手にとってみて遊ぶ、という形式にしましたので、参加者の熱気と興奮に包まれた、楽しくてにぎやかな1時間半のワークショップとなりました。

スタディーツアー(3日目)では、サンパウロ市郊外にある大きなプレイパーク(アウトドア・トライブラリーの位置づけ)と、貧困地域にあるおもちゃ図書館(日本の学童保育に相当)を見学しました。後者ではブラジルの貧富の格差をあらためて痛感しました。

おもちゃの図書館全国連絡会世話人福代表



ナショナルプレゼンテーションでの日本の発表



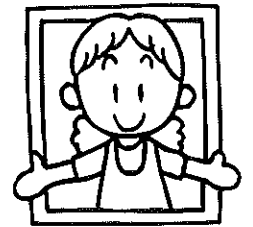
シンシア・モリソン ITLA 会長と峯島副代表  
(同会長は今回の国際会議をもって任期満了となりました)



スタディーツアー・コロンビアの皆さんと  
日本からの参加者4名  
(峯島・松山・松原・山田)

# ☆特集☆

# ようこそ！新入会のみなさん



## No.694 柏原おもちゃ図書館 BORO ぼこ (大阪府・柏原市)



柏原市で月に1回地域の小学校体育館を借りて活動しています。  
『おもちゃ図書館』の存在を知ったのは20年ぐらい前になります  
(NHKの特集番組)当時、障がいの子どもを連れて遊びに気軽に行ける場所は、柏原市にはなく、いつも行く所を探していました、番組を見てすごい活動をしているんだと知り、探しましたが近隣の市にもなく、引きこもり状態でした。その時の子どもが23歳になり、今は『おもちゃ図書館』に行く年齢ではなくなったのですが、自分が子育ての時に悩んでいた、連れていく所の一つとして柏原市にぜひ『おもちゃ

図書館』をと思い立ち上げました。地域での知名度はまだ低いですが、どんどんと活動の場を増やし、孤立しがちな子育て中の保護者の相談や情報提供、息抜きの場になれるようにまた、地域に根ざした『BORO ぼこ』としてスタッフ一同頑張ります。  
(柏原おもちゃ図書館 BORO ぼこ 大橋真実)

## No.695 おもちゃ図書館 TOY ぶらり〜(埼玉県・本庄市)

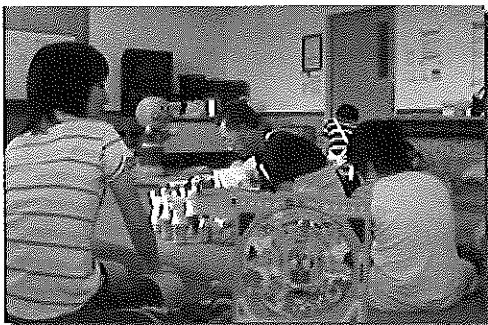
はじめまして！埼玉県本庄市にあります“おもちゃ図書館 TOY ぶらり〜”と申します。本庄市では、おもちゃ図書館の認知度がとても低く、皆さんに知って頂く為 チラシを配りました。まだまだ参加者は少ないですが、おもちゃで遊ぶ他、紙芝居やエプロンシアターなどもやっています。障がい児とその家族が楽しく安心して遊べる場所、そしてまた来たいと思っただけの場所にしていきたいと思っています。

駆け出したばかりで何ができるか、何をしたらたのしいかを試行錯誤しながら みんなでやっています。協力者の輪も広げていく事も念頭に入れ、それぞれ得意分野を使い、関わっていく事でたくさんの方の理解や興味といった世界観が広がる結果になれば幸いです。

(おもちゃ図書館 TOY ぶらりー 代表 郷そのみ)



## No.699 榛東村おもちゃ図書館やまゆり(群馬県・榛東村)



「楽しく集う場にしたい。」活動拠点にしている“楽集センター”の名称通りの願いを目標に、今年6月から第2土曜日(午後1時30分~3時)に開館しています。スタッフは故障修理の熟練者・言語訓練や保育士及び介護福祉関係職の経験者です。

子ども達と遊びを共にしながら、どんなおもちゃが適しているのかな?使い勝手の良さや安全性は?それより何より子ども達と信頼関係を構築して etc...なんて構えていると、逆に子ども達の方が遊びの展開が上手だったりしてスタッフが遊ばせて貰っています。子どもは遊びの天才です本当に。

まだまだ手探りで始めの一步ですが、ご家族みなさんの笑顔に沢山出会えるのを楽しみに、「継続は力」の活動を続けて行きます。  
(榛東村おもちゃ図書館やまゆり 代表 小館栄子)

## No.696 おもちゃライブラリーはっぴーザウルス(新潟県・燕市)

おもちゃライブラリーはっぴーザウルスは～障がいのある子供もいない子供も子供たちとその家族が安心して活動したり遊んだりできる楽しい時間～をコンセプトに月に1回活動しています。

活動場所の児童研修館「こどもの森」はいろいろな親子が利用しやすい施設ということもあり、当おもちゃライブラリーも多くの親子に利用していただいております。おもちゃ図書館財団様から頂いた助成金でとても質のよいおもちゃをそろえることができました。おもちゃインストラクターの研修を受けたスタッフにより毎回手作りおもちゃワークショップも行い季節のおもちゃをつくりお持ち帰りいただいています。「こどもの森」にあるwakuブロックやウッドビーズを借りてミニドームを作る月もあります。そんな時は積み木の扱いに慣れている児童館の先生もボランティアに来て一緒に遊んで頂いています。

はっぴーザウルスがスタートし一年がたちました。きっかけは私の娘がダウン症で、この地域に私たちのような活動をしている人たちがいなかったことです。娘が生まれたばかりのころは成長の遅い娘のためにとにかく療育!!とおもっていたのですが今としてみると療育施設に通うことにこだわらなくても遊びという中に沢山の要素が加わっているという事を学びました。地域の沢山の人とつながっていく事、人の優しさに気づいたり、子供たちから沢山の学びをもらいこの活動を通してさまざまな分野に興味をわき、それぞれに深まっていくことを実感しています。

感謝・感謝!これからもいろいろな親子に利用していただけるように続けていきたいです。

(おもちゃライブラリーはっぴーザウルス 代表 深海 寛子)



## No.697 汐入おもちゃ図書館子育て交流サロン(東京都・荒川区)



「汐入おもちゃ図書館子育て交流サロン」は荒川区社会福祉協議会の運営する常設館として、平成22年12月にオープンしました。

おもちゃ図書館のある汐入地区は、東京都の再開発により、たくさんのマンションが立ち並び、新しく移り住む子育て家族の多い町です。そんな町のショッピングセンター内の図書館子どもコーナーに隣設という恵まれた場所で、オープン以来たくさんの親子に利用していただいています。

スペースはあまり広くありませんが、工夫してたくさんの魅力あるおもちゃを揃えています。子どもたちがおもちゃで夢中で遊ぶ傍らで、お母さん方は育児情報交換。子どもたちの笑顔にあふれ、地域の中で人と人とのつながりの場となるおもちゃ図書館をめざしていきたいです。

(汐入おもちゃ図書館子育て交流サロン 鈴木光代)

※NO.698の「おもちゃ図書館モモ」さんは次回ご紹介させていただきます。

**新しいおもちゃ図書館の活動への想いの中に、学ぶことがたくさんありました。  
皆様、これからもどうぞよろしくお願い致します!**



おもちゃ図書館 仲間の皆様へ

おもちゃの図書館全国連絡会

1 支援の内容について 《大きく二つの支援を柱とします》

I 被災地のおもちゃ図書館への支援

(お見舞い金・生活物資の支援・被災したおもちゃ図書館の復興支援)

II 被災地や避難先において障がいのある子ども達も安心して遊べる場所作り

(移動おもちゃ図書館開催 小規模なもの・大規模なキャラバン)

2 これまでにいただいた支援金

\*皆様からの緊急支援金 12月9日現在 220件 2,999,475円

\*英国玩具協会より活動支援金をいただきました(5月) 1,283,200円

\*日本おもちゃ図書館財団より、移動おもちゃ図書館(キャラバン)等に200万円のご支援をいただき、7月よりキャラバンを実施しております。

\*東京メソニック協会より被災地支援活動のため152万円のご支援をいただきました(12月)

3 活動報告

◎南三陸町へミニキャラバン いそひよ開館日応援&福興市にておもちゃ広場開催

10月29日(土)～30日(日)

11月26日(土)～27日(日)

◎移動おもちゃ図書館

\*10月8日(土)～11日(火) 陸前高田市ふれあい市場・石巻渡波小学校(塩尻おもちゃ図書館)

\*10月8日(土)～9日(日) 宮古市津軽石小学校・佐原保育所・グリーンピア三陸みやこ

(秋田グリーンローズおもちゃ図書館)

\*10月14日(金)～16日(日) 釜石市ボランティアセンター

(荒川おもちゃ図書館子育て交流サロン)

\*11月12日(土) 東松島市共生園(つくしの会おもちゃ図書館)

\*12月4日(日) 滋賀県第1回避難者交流会にておもちゃ広場

(近江八幡おもちゃ図書館宙・おもちゃライブラリーはばたき)

◎おもちゃの寄贈 \*12月 石巻市門脇地区仮設住宅 集会室用おもちゃを寄贈

4 手作りおもちゃの募集 以下のようなおもちゃを随時募集しています。

①みんなで遊べるようなおもちゃ(まとあて・魚釣り・タペストリーなど)

②お土産用として差し上げられる小さなおもちゃやぬいぐるみ、マスコット、布ボール、お手玉など

5 今後の活動について

\*12月～3月 福島市内保育所にて移動おもちゃ図書館開館、福島市内の盲学校・聾学校訪問

(予定) ①12月14日・15日 ②1月18日・19日 ③2月15日・16日

④3月7日・8日 ※参加ご希望の方は連絡会事務局へお問い合わせください

\*1月以降 南三陸町福興市に合わせて移動おもちゃ図書館開館予定

お願い



\*各地の避難先や仮設住宅等で移動おもちゃ図書館を開いた、または開こうとするところは事務局へご連絡下さい。支援活動に対し、助成金と使用するおもちゃの申請ができます。(原則1館1回)また、活動の様子はトイポストに紹介させていただきます。

【震災支援金の口座】

三菱東京UFJ銀行 築地支店

(口座番号) 0077735

(口座名)

おもちゃの図書館全国連絡会

代表 小泉康代 災害支援口

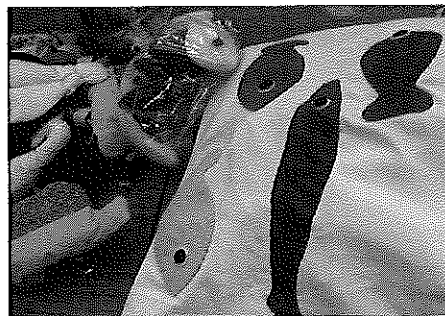
## 支援活動関連トピックス

# たくさんのお手作りのおもちゃ、ありがとうございます！

今回の東日本大震災の支援活動にあたり、全国連絡会の仲間の皆様ならびに、多くの皆様より「手作りおもちゃ」をたくさんお寄せいただきました。お気持ちのこもったおもちゃが届くたびに「おもちゃ図書館ってあたたかい」と改めて感じました。心より皆様のご厚意に感謝申し上げます。

4月の先遣隊の活動からさっそく現地のお子さんたちへのお土産にと、移動おもちゃ図書館実施のたびに届けさせていたいております。小さなお子さんだけでなく、ご高齢の方まで幅広く多くの方に喜んでいただきました。

本来ならば、おもちゃを送っていただいた皆様にそれぞれお届け先の様子などもご報告させていただくところですが、支援活動の中で充分にお伝えできずにおりましたことをお詫び申し上げますとともに、今後も引きつづきご協力を賜りますようお願い申し上げます。



届いた中からほんの一部ですが、ご紹介させていただきます。  
ありがとうございます！



## 本の紹介

大震災  
自閉っご家族の  
サバイバル



『大震災自閉っご家族のサバイバル』  
高橋みかわ著 ぶどう社発行

避難生活の中で、自閉っごが抱える困難に  
どう対応したか、周りの理解を得るのにどう工夫したか  
知恵や配慮や手だてを紹介（ぶどう社HPの紹介より）

※11月13日、全国ボランティアフェスティバル分科会52  
石巻市・戸田さんの発表の中でご紹介いただきました。

おもちゃ図書館活動を支えてくださる皆さまへ  
《賛助会員のお願い》

昭和58年に組織された「おもちゃの図書館全国連絡会」の活動も29年目を迎えました。おもちゃ図書館がスタートした頃は、障がいのある子どもとその兄弟姉妹たちを対象にした活動でしたが、現在は障がいのある子もない子も共に遊び、交流し育ち合う「場」となっております。

子育て中の保護者の方にとっては、情報交換とホッとできる場、また先輩に相談できる場として貢献しております。地域の中で、老若男女、世代を越え、障がいを越え、様々な壁を越えてホッとできる居場所として、一人ひとりの違いを認め合い、共に生きる地域づくりをめざしております。

つきましては、当連絡会の活動を支えてくださる賛助会員としてご支援いただきたくお願い申し上げます。また、広く周囲の方々にも呼びかけていただきたく、お願い申し上げます。賛助会員は個人でも団体・グループでも結構です。また、今まで賛助会員としてご協力頂いている方も引き続きご支援くださるよう、よろしくお願い申し上げます。

☆賛助会費は、一口2,000円。何口でも結構です。

賛助会員としてご協力いただいた方には、おもちゃの図書館全国連絡会機関紙「トイ・ポスト」を毎回お届けいたします。

《賛助会費振込先》 ゆうちょ銀行：当座00170-5-181655  
加入者名：おもちゃの図書館全国連絡会

インフォメーション

平成23年度TOYらいぶらいあん養成講座(初級)開催のお知らせ(要綱は1月に発送します)

日時	2012年2月18日(土) 10:00~15:15
会場	東京ボランティア市民活動センター会議室(東京都新宿区)
対象	おおむね3年以上おもちゃ図書館のボランティアとして活動している方
内容	①ボランティアについて②おもちゃ図書館について③おもちゃと遊び④障がいについて
主催	おもちゃの図書館全国連絡会(東京メソニック協会からのご支援をいただき実施いたします)

※要綱はHPにも掲載いたします。

おもちゃ寄贈事業

(財)東京メソニック協会より委託を受け、平成23年度おもちゃの図書館全国連絡会員へのおもちゃ寄贈事業を実施します。要綱がお手元に届くと思いますので「平成24年1月25日(水)」までに書類をそろえてお申込み下さい!

平成23年度(財)日本おもちゃ図書館財団助成金の交付先が決定いたしました。

A申請 18件(3,413,000円) B申請 23件(1,150,000円)

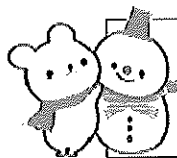
本年もたくさんのご応募をいただいた中から、同財団の審査会及び理事会において審査の結果A・B合わせて41館に対しての助成が決定いたしました。

☆賛助会費ありがとうございました(敬称略・順不同)

澤田妙子 渡邊昌行

☆寄付金ありがとうございました(敬称略・順不同)

上野あけみ 朝川修子



☆事務局より冬休みのお知らせ☆

12月28日(水)~1月5日(木)

お休みさせていただきます。

※訂正とお詫びトイ・ポスト104号P5 正しくは「清須おもちゃ図書館ひだまり」でした

＜編集後記＞

忘れてはならない3月11日の東日本大震災…大変な一年も終わろうとしております。

各地の皆様はクリスマス会などの行事を楽しんでいることでしょうか。地区研修会も大規模・小規模研修会と新しい試み、戸惑いもありますが、皆様のご協力のもとで残すところ後1件となりました。11月には久しぶりに東京での全ボラ開催。木谷先生のおもちゃの図書館設立の頃のお話や、「過去・現在・未来」おもちゃ図書館の「遊びの重要性・おもちゃ図書館の役割」と「原点」を考える機会となりました。震災関係の「さくら通りだより」では毎回皆様からの支援金・活動の様子を掲載しております。引き続きご協力よろしく申し上げます。最後に皆様どうぞ良いお年をお迎え下さい。(トイポスト担当：松原・岸・隅田)